

## 領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題: テクノロジーの革新と日本の美学および感性

◆研究テーマ: 観客と共創する芸術—光・音・身体の共振の社会的・芸術学的・工学的研究

研究期間: H29.10~H32.9

委託費総額: 13,163千円

### <研究代表者>

山崎敬一: 埼玉大学大学院人文社会科学部研究科/教授



#### <専門分野>

社会学、エスノメソドロジー、会話分析、  
コンピュータの支援による協同作業(CSCW)

#### <Webページ>

<http://s-read.saitama->

[u.ac.jp/researchers/pages/researcher/FuXVsVBx](http://u.ac.jp/researchers/pages/researcher/FuXVsVBx)

### <研究目的・概要>

- ・芸術空間において、舞台と観客との一体感の欠如という課題が存在

共同的愉悦を相互行為的聴衆論により実現するため、演者と観客の一体感を増強するデバイス・システムを開発する

- ・舞台と観客の一体感を増強するシステムの開発、及び観客と共創する芸術空間の創造を行う
- ・独自の相互行為的聴衆論により、演者と観客、及び観客間の相互行為のエスノメソドロジー的分析を行う
- ・光と音と身体共振を支援するシステムの実験と評価を行う
- ・演劇空間での実演により研究成果の発信、普及を図る

文理の研究者による学際的な研究により、  
新しい日本の芸術空間や文化、感性の  
生成に貢献する

### <研究計画の特徴>

#### 社会学

演者や観客、及び観客の間の相互行為をエスノメソドロジー的に分析

#### 芸術学

日本的な伝統工芸の美的表現を応用した作品制作と実験的な展示空間の創造を行う

#### 情報工学

演者の身体的な動きをセンサーによって取得し、観客にデバイスの光の点滅と振動によって伝えるシステムを開発

#### 日本文化論

日本的な伝統工芸の美的表現を応用した作品制作と実験的な展示空間の創造を行う

「共同的愉悦」  
を生み出す  
芸術空間を  
創造する

### <目標とする研究成果>

#### (1) 新しい芸術空間を創出

①社会学、②情報工学、③芸術学、④日本文化論の共同研究に基づき、日本の文化の伝統に導かれた光と音と身体共振によって、観客とパフォーマンスとアートが共創する新しい芸術空間の創造と実践的な研究を行う

#### (2) 新しい文化創造の要素を導き出す

社会学・芸術学・日本文化研究と情報工学の共同研究によって共同的愉悦を生み出すと共に、その文化的価値を評価することによって新しい人文・社会科学の領域を開拓する

### <将来展望>

日本的感性に基づく新たな芸術空間の創造により  
これまでにない鑑賞体験を提供し、日本文化の  
さらなる発展と世界還流に寄与する